

## 議 事 次 第

会 議 名	令和元年度 第1回 介護・医療連携推進会議
開 催 日	令和元年9月19日(木)
開 催 時 間	16時00分から17時00分まで
開 催 場 所	ナイトウメディックス(株) 本社2階会議室
出 席 者	<input type="checkbox"/> (加西市地域包括支援センター 主任) <input type="checkbox"/> (市立加西病院地域医療室 室長) <input type="checkbox"/> (加西市民生・児童委員協議会 副会長) <input type="checkbox"/> (加西市社会福祉協議会 地域支援課課長) ⇒ご欠席 <input type="checkbox"/> (兵庫県介護支援専門員協会加西支部 副支部長) <input type="checkbox"/> (加西市長寿介護課 課長補佐) <input type="checkbox"/> (市立加西病院訪問看護ステーション管理者) <input type="checkbox"/> (訪問看護ステーション サークル管理者) ⇒ご欠席 <input type="checkbox"/> (ヘルパーステーション 訪問介護ニカサ 管理者) <input type="checkbox"/> (ナイトウメディックス 福祉事業部 主任) <input type="checkbox"/> (ミクチサポートセンター 管理者兼計画作成責任者) <input type="checkbox"/> (ナイトウメディックス 福祉事業部 係長)
司 会	
書 記	
議 題	1. 開会のあいさつ ( )  2. 出席者自己紹介  3. 8月末日時点のサービス実施状況報告(別紙資料)  4. 3月から8月の間の成果と課題等について  5. 次回の開催予定(令和2年 3月19日(木) 16時00分～ )  閉会

1. 利用者数

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
男性	6	6	6	7	7	6
女性	10	10	10	8	7	10
合計	16	16	16	15	14	16

2. 要介護度

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
要介護1	1	1	2	3	3	5
要介護2	5	5	3	1	1	1
要介護3	6	6	6	5	4	4
要介護4	1	2	3	5	4	5
要介護5	3	2	2	1	2	1
集計	16	16	16	15	14	16

3. 登録者

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
新規	1	1	2	2	0	2
終了	0	1	1	3	1	0

4. 居宅ケアマネ

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
自社	6	6	6	5	4	4
他事業所	10	10	10	10	10	12
合計	16	16	16	15	14	16

5. 終了理由

項目	人数
永眠	1
入院	3
他サービスへの移行	2
その他	0

2名とも県指定訪問介護に

6. 利用者居住地

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
北条中	3	3	2	1	2	1
善防中	6	5	5	5	4	4
加西中	3	4	4	4	3	4
泉中	4	4	5	5	5	7

7. 家庭の状況 (令和元年8月末時点)

状況	人数
独居	7
高齢夫婦	2
家族同居(日中独居)	3
家族同居(昼夜協力あり)	4
その他	0

8. 緊急コールの状況 1

	コール数	真報	誤報	備考
3月	21	15	6	
4月	7	6	1	
5月	13	8	5	誤報はいずれもテスト通報
6月	19	17	2	テスト通報1回
7月	17	11	6	テスト通報1回
8月	8	4	4	テスト通報1回。停電と復旧が各一回

緊急コールの状況 2

3月		
名前	回数	内容と対応
Aさん	14回	夜間から深夜、早朝にかけて不穏状態が出現。拝み屋がいる、孫が連れ去られて監禁されている、家や土地を狙われている等の訴えから頻回に警察にも通報歴があった。当月は特に不穏状態が強く、近隣の家を夜中に尋ねて警察に通報されてしまう事も起きた。このことをきっかけに、ご家族が話し合われて長男様が自宅に引き取られて、同居を再開される事となった。その後、この種の不穏言動は全く聞かれなくなった。
Bさん	1回	4時25分発報。ペンダントより。随時訪問すると、寝室が寒いとの訴え。調整して退去。
4月		
名前	回数	内容と対応
Aさん	6回	コールがある時の状況は前月と変わらず。都度、落ち着いて頂けるよう言葉かけや随時訪問により対応。定期巡回サービスは当月で終了となる。

5月		
名前	回数	内容と対応
Cさん	7回	5月25日夜に転倒され、ペンダントから発報。随時訪問して対応。顔面の腫脹や痛みの訴えがあり。ご家族様にも連絡。以降、痛み等を原因としたコールが続く。受診された結果ろっ骨を骨折されていた。
その他	5回	新規利用者のテスト通報

6月		
名前	回数	内容と対応
Cさん	10回	5月の転倒、骨折よりそれまでは自力で可能であったトイレの使用が困難となり、特に便意から行動を起こして床を這って移動したり、失禁した後始末が不十分で助けを求めるコールが増えた。自立心が強い事が災いしており、ご家族から再三説得頂いて、Pトイレの使用が定着し、転倒などの事故は減少した。
Bさん	2回	14日6時35分にペンダントからコールあり。訪問するとヘルパーが来ないとの訴え。時間等説明し、息子様にも対応を依頼。 26日8時36分にペンダントからコール。訪問すると不穏状態で、誰もいない、との訴え。傾聴して対応。
Dさん	5回	6月から新規利用。高齢夫婦世帯で対象者は夫で要介護1、妻は要支援2。夫からのDVの報告もある案件で、5月末の契約直後に緊急コールがあり暴力を受けたと訴えがある。 14日にも夫婦喧嘩から夫が暴れただと妻からコール。22日には調理中に火傷をしたとの妻からの緊急コール。いずれも随時訪問して対応。火傷は調理中に夫から暴言や暴力を受けた結果起きたと妻から訴えがある。  対応困難事例としている。

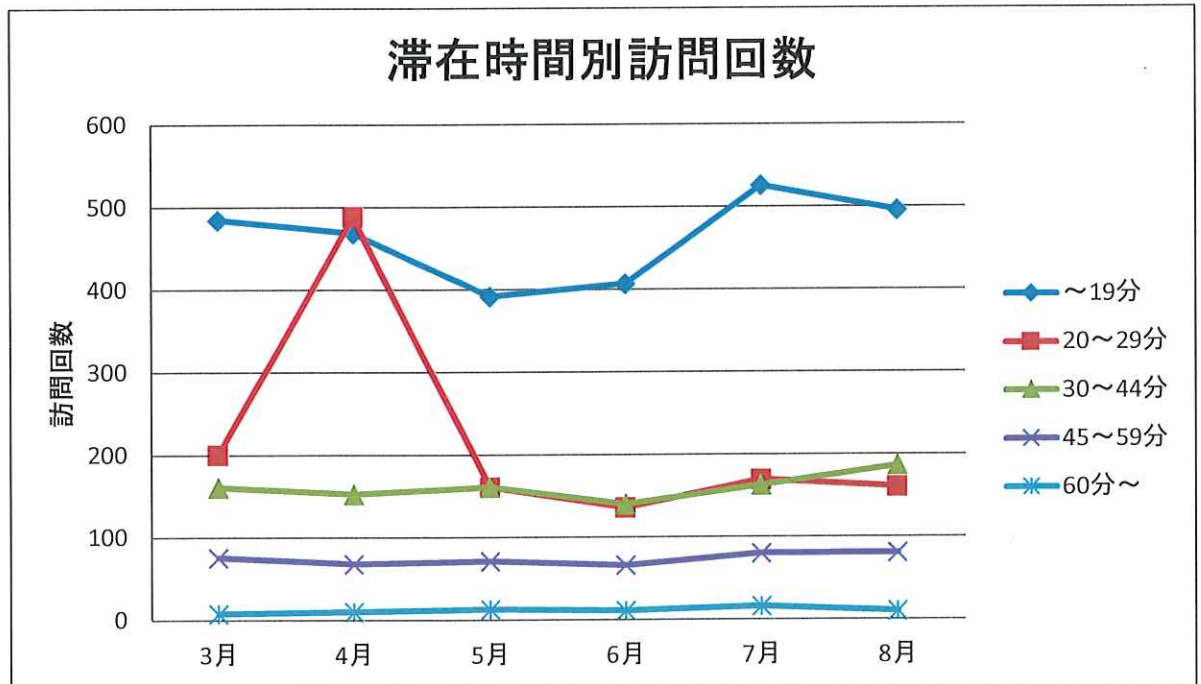
7月		
名前	回数	内容と対応
Cさん	10回	排尿は紙パンツへの失禁を定期的に交換することが習慣化。排便時には、紙パンツへの失禁もあるが、Pトイレでも排泄。後始末もほぼ自力で行いコールするようになる。転倒事故等は起きておらず、随時訪問して対応している。
Eさん	1回	同居中の実兄様より体調が悪いと言っているとの緊急コールあり。随時訪問して対応。訪問時には軽快していた。

8月		
名前	回数	内容と対応

Cさん	1回	排便があったとのコール。随時訪問して対応。
Eさん	3回	17時30分頃にペンダントからのコール数回続けてある。新規利用者で詳しい状況が分からず随時訪問する。体調に異常等なく、トラブルでもない様子。本人に尋ねても明確な返答なし。

9. 資料

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
総稼働日数		417	406	360	347	403	394	387.8
利用者数		16	16	16	15	14	16	15.5
延べ日数		496	480	496	450	434	496	475.3
稼働率		84.1%	84.6%	72.6%	77.1%	92.9%	79.4%	81.6%
平均稼働日数		26.1	25.4	22.5	23.1	28.8	24.6	25.1
訪問回数	～19分	485	469	392	407	526	496	462.5
	20～29分	201	489	161	136	170	161	219.7
	30～44分	161	153	161	140	163	187	160.8
	45～59分	76	68	71	66	80	81	73.7
	60分～	8	10	13	11	16	10	11.3
	計	931	889	798	760	955	935	878.0
総サービス提供時間(分)		19319	18373	17691	15985	19163	19663	18365.7



10. 職員の状況

	人数	資格	備考
常勤	6名	介護福祉士5名	24時間随時訪問可能な職員
		看護師1名	
非常勤	4名	介護福祉士2名	日勤帯の対応が可能な職員
		その他2名	
夜間OP	6名	介護福祉士6名	隣接する看護小規模多機能の職員(兼務)
事務員	1名	実務者研修終了	パート職員(平日、半日)
係長	1名	実務者研修終了	営業、インフラ、請求等の事務の統括

※3月～6月の常勤換算(平均)

- A 9.5名 夜間OP込みで計算した場合  
 B 7.6名 実質的な稼働人員で計算した場合  
 C 5.5名 一日あたりの平均的な出勤人数

職員一人当たりの訪問件数(平均値)	$(878 \div 25.1) \div 5.5 = 6.3$	6.3件
1日当たりの訪問時間(平均値)	$(18365.7 \div 878) \times 6.3 = 131.7$	131.7分
1件当たりの平均的な移動時間(目安)	事務所往復の平均的な時間	30分
1日当たりの平均的な移動時間の合計	$30 \times 6.3 = 189$	189分
1日当たりに必要な職員の拘束時間	$131.7 + 189 = 320.7$	320.7分 ⇒ 約5.5時間

## 11. チーム型定期巡回サービスの進捗状況

- ・6月24日  
⇒ヘルパーステーション 訪問介護ニカサ様とチーム型に関する契約締結
- ・7月10日～現在  
⇒2名の利用者に対して3名のヘルパーを選出頂き、同行訪問を実施中  
⇒8月も同行を継続。第一回の合同ミーティングを開催  
⇒9月中に各ヘルパー様への見極めを実施予定。利用者宅に端末を設置
- ・10月～  
⇒ニカサヘルパー様単独での介入開始予定

## 12. 半年間の成果、課題等

☆ニカサ様とチーム型定期巡回のスタートを切れた

☆ご自宅で看取り希望のある利用者に対して、最期までケアすることができた

☆ヘルパー用の社用車が一台増えた(4台になる)

★朝夕の時間帯に介入の必要がある利用者が増え、定期訪問が6時台から21時台まで広がりシフト調整が難しくなっている。また、結果的に長時間拘束が起きている。

★早朝、夜間、深夜帯に定期的な訪問のニーズや必要性が出た場合の具体的な対応策

★送り出しや迎え入れ、同行訪問へのニーズの対応について